

なぜだ 今年のサケ遡上は1匹

年 組 名前

千曲川の東京電力西大滝ダムの魚道で毎年行っているサケの遡上調査で、今季（9月11日～11月10日）に確認されたのは1匹だったことが分かりました。遡上調査について、記事を読んでみましょう。 ※遡上＝流れをさかのぼること

なぜだ 今年のサケ遡上は1匹

千曲川西大滝ダム 昨年は26匹



1匹の記録しか書かれていない調査票を手に、残念がる宮本さん

飯山市と野沢温泉村境にある千曲川の東京電力西大滝ダムの魚道で毎年行っているサケの遡上調査で、今季（9月11日～11月10日）に確認されたのは1匹だったことが11日、分かった。昨年は、現行期間で調査を始めた2011年以降で2番目に多い26匹。激減した理由は不明で、関係者は残念がっている。調査は、長野・新潟両県などでつくる信濃川中流域環境改善検討協議会が毎年実施している。同協議会事務局の国土交通省信濃川河川事務所によると、昨年から大幅に減少した理由は不明。新潟県内の調査でも遡上が少ないという。宮本さんは「残念だけど、自然のことだから仕方がない」と話した。

（2021年11月12日朝刊・地域面〈北信〉）

① 昨年遡上さくねんが確認されたのは、2011年以降いこうで何番目に多い、何匹びきでしたか。

③ 新潟県内の調査は、どんな結果けっかでしたか。

② 調査を請け負う高水漁協ぎよきょう理事の宮本惣次みやもとそうじさんによると、今季の1匹は、何月何日に確認されましたか。また、体長や重さは、どのくらいでしたか。

④ 宮本さんは調査結果について、何と話しましたか。

確認された日—

体長—

重さ—

なぜだ 今年のサケ遡上は1匹

解答例

年 組 名前

千曲川の東京電力西大滝ダムの魚道で毎年行っているサケの遡上調査で、今季（9月11日～11月10日）に確認されたのは1匹だったことが分かりました。遡上調査について、記事を読んでみましょう。 ※遡上＝流れをさかのぼること

なぜだ 今年のサケ遡上は1匹

千曲川西大滝ダム 昨年は26匹



1匹の記録しか書かれていない調査票を手に、残念がる宮本さん

飯山市と野沢温泉村境にある千曲川の東京電力西大滝ダムの魚道で毎年行っているサケの遡上調査で、今季（9月11日～11月10日）に確認されたのは1匹だったことが11日、分かった。昨年は、現行期間で調査を始めた2011年以降で2番目に多い26匹。激減した理由は不明で、関係者は残念がっている。調査は、長野・新潟両県などでつくる信濃川中流域環境改善検討協議会が毎年実施している。宮本さんは「残念だけど、自然のことだから仕方がない」と話した。

（2021年11月12日朝刊・地域面〈北信〉）

① 昨年遡上さくねんが確認されたのは、2011年以降いこうで何番目に多い、何匹びきでしたか。

【答え】 2番目に多い26匹

② 調査を請け負うう高水漁協ぎょきょう理事の宮本惣次みやもとそうじさんによると、今季の1匹は、何月何日に確認されましたか。また、体長や重さは、どのくらいでしたか。

確認された日— 10月28日

体長— 62㎝

重さ— 2.5㎏

③ 新潟県内の調査は、どんな結果けっかでしたか。

【答え】 （新潟県内の調査でも）遡上が少ない

④ 宮本さんは調査結果について、何と話しましたか。

【答え】 残念だけど、自然のことだから仕方がない